

# オーム社開発部における T<sub>E</sub>X の利用

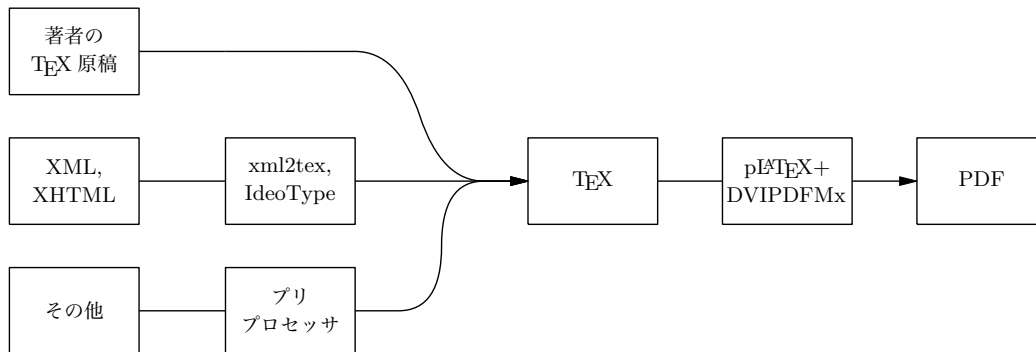
森田尚・鹿野桂一郎・高尾智絵（オーム社 開発部）

{hmorita,kshikano,ctakao}@ohmsha.co.jp

<http://www.ohmsha.co.jp/>

当編集部での T<sub>E</sub>X を利用した出版物と、執筆から編集制作までのワークフローを報告します。

1. バージョン管理された原稿を著者・訳者や編集者が編集
2. 原稿が更新されると CI サーバにより自動的に組版され、所定の場所に PDF がアップロードされる
3. PDF をプレビューして見直す（1 へ戻って繰り返す）



T<sub>E</sub>X の導入により、仕上がりをしながら原稿を何度も書き直せるようになり、著者が実力を発揮しやすい執筆・編集環境を実現できています。また、こうしてできた成果物は、ほぼそのまま電子書籍としても提供できるものになります (<http://estore.ohmsha.co.jp>)。